

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	デクスメトミジン(DEX)が腰仙部手術の術中神経モニタリングへ与える影響について
研究責任者	臨床工学室 増井浩史
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 11 月
対象者	2024 年 4 月から 2025 年 5 月までの間に BCR モニタリングを使用した手術を受けた患者さん
研究の意義・目的	脳神経外科の腰仙部手術において術中の神経モニタリングを行っており、麻酔薬のDEXを術中に使用することがありますが、それによる波形低下などが散見されます。 今回の研究では、DEX の使用が、各神経モニタリング(MEP・SEP・BCR)にどの程度影響しているのか調査します。今回の研究によって患者背景や麻酔方法に対応したモニタリング方法や、精度の向上ができると考えられます。
研究の方法	2024 年 4 月から 2025 年 5 月までの間に BCR モニタリングを使用した手術を受けた患者さん。対象患者さんについて、診療録から患者背景データの項目の調査、BCR 波形の出現率を比較し、後向き観察研究を行ないます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 臨床工学室 増井浩史 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日